

一般社団法人 岩の力学連合会
平成 25 年度・第 3 回常任理事会 議事録

日時	平成 26 年 1 月 29 日 14:00～17:00	場所	(公社)地盤工学会会議室
----	------------------------------	----	--------------

常任理事 会	理事長	尾原 祐三	○	副理事長 (賞選考)	福井 勝則	○	幹事長 (総務)	坂口 清敏	○
	常任理事 (国際技術) (地盤)	青木 智幸	○	常任理事 (電子J) (資源・素材)	山口 勉	○	常任理事 (50周年) (材料)	石田 毅	○
	常任理事 (土木)	京谷 孝史	○	常任理事 (ARMS8) (前幹事長)	岸田 潔 14:00-14:30	●			
	常務理事 (RockNet)	笹尾 春夫	○	常務理事 (編集)	蔣 宇静	×	事務局	富田明日香	○

敬称略順不同, ○: 出席, ×: 欠席, ●: スカイプ出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 25-3-1	平成 25 年度第 2 回理事会議事録 (案)
資料 25-3-2	会員の入退会
資料 25-3-3	平成 26 年度 ARMS8 予算案
資料 25-3-4	50 周年記念フォーラム開催企画案
資料 25-3-5	50 周年記念誌表紙案
資料 25-3-6	50 周年記念誌頁数割り振り案
資料 25-3-7	平成 26 年度事業計画 (案)
資料 25-3-8	平成 26 年度収支予算 (案) (一般会計)
資料 25-3-9	平成 26 年度収支予算 (案) (基金)
資料 25-3-10	平成 26 年度収支予算 (案) (国際会議準備基金)
資料 25-3-11	平成 26 年度収支予算 (案) (創造的提案事業基金)
資料 25-3-12	収入・支出案のまとめ
資料 25-3-13	岩の力学連合会事務局及び事務局員について (仮)
資料 25-3-14	7th ISRM Muller Award – nominations
資料 25-3-15	Rocha Medal 2016
資料 25-3-16	編集委員会事業報告
資料 25-3-17	電子ジャーナル委員会報告
資料 25-3-18	RockNet 委員会報告
資料 25-3-19	賞選考委員会報告
資料 25-3-20	論文賞, 技術賞, フロンティア賞の選考等に関する細則
資料 25-3-21	ARMS8 組織委員会報告
資料 25-3-22	ISRM Congress 2015 – call for papers -
資料 25-3-23	Rocha Medal 2015

理事長挨拶

尾原理事長より挨拶があった。

【議 題】

補足) 岸田理事が前半しか出席できないとのことで, 岸田理事からの提案の審議事項, 報告 (ARMS8 関連) については, 前回議事録確認の前に行ったが, 本議事録において当該事項に関する記載は, 当初予定のところに記載する。

1. 第 2 回理事会議事録(案)記載事項の確認と議事録(案)の承認

資料 25-3-1 に基づき議事録の確認を行い承認した。なお, 以下に記載するのは, 前回理事会以降の対応等についての報告である。

1) 連合会名称変更についての調査報告（各組織学会総括）

土木学会：未検討（定例委員会前なので）

地盤工学会：未検討（定例委員会前なので）

資源・素材学会：主な委員数名に聴いただけであるが、英文名称の変更については特に反対無し。日本語名称については慎重に。3月末の委員会で再検討。

材料学会：11月1日に開催された岩石力学部門委員会での審議で以下の意見が出された。

- 1) なぜ名称を変更する必要があるのか。その理由を説明してほしい。
- 2) 「学会の連合体として」協力学術研究団体として認められたのに、独立した学会とすることで問題は生じないのか。
- 3) 櫻井先生、菊地先生、吉中先生たちで立ち上げられた「岩盤工学研究会」と役割分担などを整理する必要があるのではないか。

以上の報告を確認した上で、3月開催予定の理事会において、もう一度状況を報告することとなった。また、急がずに時間をかけて議論していくことも確認した。

2) 将来構想委員会の構成等について

尾原理事長より、清水前理事長に委員長就任のお願いをして承諾を得ているとの報告があった。委員の人選については、若い世代、現理事の中からもなど構想中ではあるが、要望や意見を出してほしいとの要請があった。また、今後の具体的な活動については、平成26年度中に当該委員会に本格的な活動をしてもらい、平成27年度に最終報告を提出してもらう予定であると報告された。

2. 会員の入退会

資料25-3-2を用いて現状の入退会状況の説明がなされ、原案通り承認された。

3. 委員会審議事項

1) 編集委員会

審議事項無し。

2) 国際技術委員会

既に国内で整備されている基準の英文版について、掲載許可あればRock Net Japan上で公開したいとの提案があり、了承された。

3) 電子ジャーナル委員会（兼ISRM Congress 2015論文審査WG）

審議事項無し。

4) Rock Net 委員会

リニューアルされたRock Net Japanについて下記のような意見が出された。

- (1) 賛助会員の紹介ページの位置が良くない。もっと見やすい位置に。
- (2) 賛助会員のリスト掲載にあたってはAA会員→A会員→B会員の順にしてはどうか。
- (3) 岩の力学ニュース原稿へリンクし、HP上での公開を考えたい。編集委員会と相談する必要ありと指摘があった。
- (4) 各委員会のページの整備について、早急に使えるような手立てをしてほしいとの要望が出された。
- (5) ISRM SM対応のページの整備も必要ではないかとの提案があった。
- (6) トップページの写真を公募して集めるといのはどうかとの提案があった。

5) 連合会賞選考委員会

Rock Net Japan上で、過去の受賞者一覧を見れるようにして欲しいとの要望が出された。

6) 総務委員会

審議事項無し。

7) ARMS8組織委員会

岸田理事より、資料25-3-3に基づき、予算案について説明があった。今回提出した予算案の収入で、会議登録費収入を350人計上しているが、すでに400人以上の参加が見込まれているため、3月開催予定の理事会では400人とした場合のものを再度提出することとした。

支出項目の会議費で、「第1回委員会」、「第2回委員会」との細目の記載があるが、前者は「第2回委員会」、後者は「第3回委員会」ではないかとの指摘があり、これは記載ミスとのことで修正することとした。

支出項目の諸費で、「ISRMへの上納金」という細目があるが、これは「事務管理費」などと名称変更してはどうかとの意見がだされた。

8) 50周年記念事業実行委員会

資料25-3-4～資料25-3-6に基づいて説明があった。

- (1) 記念フォーラムの開催日時に関しては、平成26年6月27日（金）とし、平成26年度総会との併催とすることとした。場所については、第1案として、土木学会講堂を

検討することとした。

- (2) 式典の内容等については、再検討することとなった。
- (3) フォーラム参加費、懇親会費について再検討することとなった。
- (4) 記念誌の製作については、表紙デザイン、製本仕上(箱付き)などについて再検討し、出版費用に関しても複数の業者からの相見積もりによって再検討することとなった。
- (5) 記念誌に関して、執筆者ごとに頁数に凸凹があるが、そのままとすることで了承された。

4. 平成 26 年度事業計画・予算案

1) 平成 26 年度事業計画

資料 25-3-7 に基づいて説明があり、了承された。

2) 平成 26 年度予算案

資料 25-3-8～資料 25-3-12 に基づいて説明があり、今後の動きも加味した修正等を適宜行なうことで了承された。

5. 事務所の移転に関して

資料 25-3-13 に基づいて、連合会事務局の移転および事務局員の雇用に関しての要望が、地盤工学会から出されているとの報告があった。事務局移転については、資源・素材学会への移転が可能であるか否かについて、副理事長および幹事長が中心となって検討が進められてること、事務局員の雇用に関しては、移転の件と連動した案件となるので、併せて検討中であるとの報告があった。

6. 社員総会の日程について

平成 26 年 6 月 27 日(金)の午前中に行うこととした。総会終了後に 50 周年記念式典およびフォーラムを実施することも確認した。場所については、土木学会講堂を第 1 案として検討することとなった。

7. ISRM 関連

1) 7th ISRM Muller Award – nominations

資料 25-3-14 に基づいて、7th ISRM Muller Award 受賞者候補の募集について説明があった。

2) Rocha Medal 2016

資料 25-3-15 にもとづいて、Rocha Medal 2016 受賞候補者の募集について説明があった。

8. その他

特になし。

【報告事項】

1. 委員会活動報告

1) 編集委員会

資料 25-3-16 に基づいて報告があった。

2) 国際技術委員会

報告事項無し。

3) 電子ジャーナル委員会 (兼 ISRM Congress 2015 論文審査 WG)

資料 25-3-17 に基づいて報告があった。主な点は以下の通り。

(1) Summary のカテゴリを追加した。

(2) ISRM Congress の国内論文審査委員会を組織した。

(3) 編集評議員の方に毎年定期的に論文等を投稿いただくようお願いすることを確認した。

4) Rock Net 委員会

資料 25-3-18 に基づいて報告があった。

5) 連合会賞選考委員会

資料 25-3-19～資料 25-3-20 に基づいて報告があった。

6) 総務委員会

7) ARMS8 組織委員会

資料 25-3-21 に基づき報告があった。主な点は以下の通り。

(1) アブストラクト投稿者が 478 件となった。

(2) 予想以上の申し込み者となったので、会場の数を増やすこと、既に借りている会場のレイアウトの再検討などを行うことにしている。

8) 50 周年記念事業実行委員会

報告事項無し。

2. ISRM 関連
 - 1) ISRM Congress 2015 について
資料 25-3-22 に基づいて説明があった。
 - 2) Rocha Medal 2015
資料 25-3-23 に基づいて説明があった。
3. その他
特になし。
4. 理事会・常任理事会の次回開催日程等について下記の事を確認した。
第3回理事会：平成26年3月18日（火） 14:00-17:00
 - ・会員の入退会
 - ・各委員会審議事項
 - ・平成26年度事業計画および予算案
 - ・平成25年度事業報告および決算案，総会議題
 - ・50周年記念事業に関して
 - ・旅費規程，理事会規則に関して
 - ・各委員会報告事項

第1回常任理事会：平成26年5月中とするが日程の詳細は未定。

以上